

# 稲作だより 第7号 中干し編

## 令和6年6月21日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動最上地域本部  
(最上総合支庁農業技術普及課) ☎0233-29-1333

高温多照によって、葉数展開が早まり、茎数が急増しています(表1)。

茎数が多過ぎると、籾数過剰となり、品質低下するリスクが高まります。中干しで生育をコントロールしましょう。

表1 生育診断圃の調査結果

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
はえぬき (新庄市泉田)	本年	29.3	338	7.8	40.5
	平年	33.0	357	7.2	39.9
	平年比	89	95	0.6	0.6
つや姫 (舟形町富田)	本年	44.4	<b>578</b>	8.3	46.4
	平年	36.1	464	7.9	42.1
	平年比	123	<b>125</b>	<b>0.4</b>	4.3
雪若丸 (新庄市泉田)	本年	25.7	415	7.9	43.3
	平年	28.2	430	7.4	42.7
	平年比	91	96	0.5	0.6
あきたこまち (最上町向町)	本年	38	<b>524</b>	8.4	46.5
	平年	32	361	7.8	42.3
	平年比	121	<b>145</b>	<b>0.6</b>	4.2

## 遅くとも6月30日までに中干し開始

中干しの目的は、無効分げつの抑制・根圏環境の健全化・地耐力の確保です。

移植の早かった圃場等では、すでに茎数が十分確保されている状況のため、早めに中干しを開始しましょう。

また、茎数確保が遅れている圃場でも、浅水管理とワキ対策としての水交換等を含め、中干し開始の目安となる茎数(表2)を確保したら、根圏環境を健全化して暑い夏を乗り切るため、遅くとも6月30日までに中干しに入りましょう。

表2 中干し開始の目安

品種	目標茎数 (本/m <sup>2</sup> )	中干し開始の茎数 (本/m <sup>2</sup> )	←の時の株当り茎数(本)	
			(70株/坪植え)	(60株/坪植え)
はえぬき	480	380~430	18~20	21~24
つや姫	410	330~370	16~17	18~20
雪若丸	560	450~500	21~24	25~27
あきたこまち	450	360~410	17~19	22~25

※目標茎数は、穂数の基本指標値を表す。

## 小ヒビが入る程度に

中干し期間が長過ぎて田面が白乾亀裂した場合、水稻の根が切断したり、給水時に水が行き渡らない原因となるため、**中干しは田面に小ヒビが入る程度（10日程度）**に止めます。

また、作溝を3～5mおきに1本程度の間隔で切ること、中干し後の給排水をスムーズにして農業用水の有効利用に繋がしましょう。



生育が小さい圃場や乾きやすい土壌の場合、この程度で作溝に水を回し、その後しばらく水を入水します。



生育が大きい場合、この程度で作溝に水を回し、その後しばらく中干しを継続します。

## 中干し後は間断灌水

中干し後は、足跡に水がたまる程度まで走水を行い、徐々に間断灌水に移行します。出穂期までは間断灌水を続け、水分と酸素の適切な供給で根を健全に保ちます。

**農業用水を地域内で有効に使うため、必要以上の湛水や、かけ流しは控えましょう。**

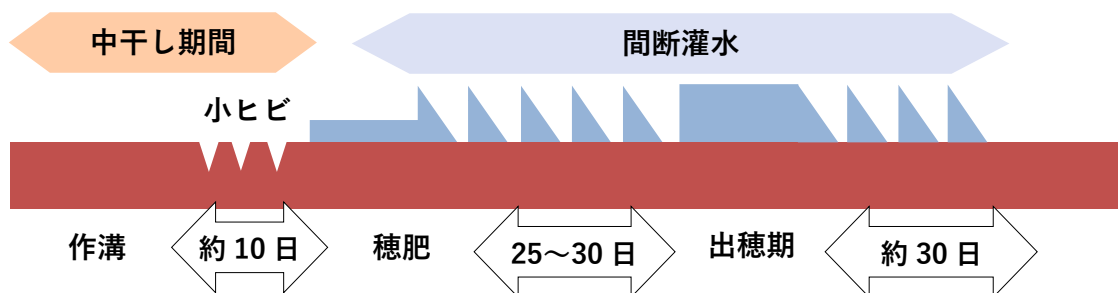


図1 中干し後の水管理のイメージ

登録者  
増加中

LINE 公式アカウント 「最上ベスト稲作」  
登録者募集中（無料）

最上地域の水稻に関する技術情報や、  
研修会の案内などがスマホで受け取れます。



登録用QR